

Pure Fan Auto

User Manual

Manuel d'utilisation

Manual del usuario

取扱説明書

사용자 설명서

使用手冊

Panduan Pengguna

ご使用前に、本書を必ずよくお読みください。本書は紛失しないよう、大切に保管してください。
本書の最新版データは、www.blueair.jp に掲載されています。

注意：国により取り扱いモデルが異なります。

製品名：	品番：
Pure Fan Auto	P431101000

目次

Pure Fan Auto	58
各部名称	59
安全上のご注意	60
初めて使うとき	65
操作ボタンと表示	65
フィルター	68
お手入れとメンテナンス	72
本体を廃棄するときは	74
アフターサービスについて	74
保証について	74
主な仕様	75

Pure Fan Auto

Pure Fan Auto 空気清浄ファンには、空気を清浄するプレフィルターとメインフィルターが一つずつ搭載されています。

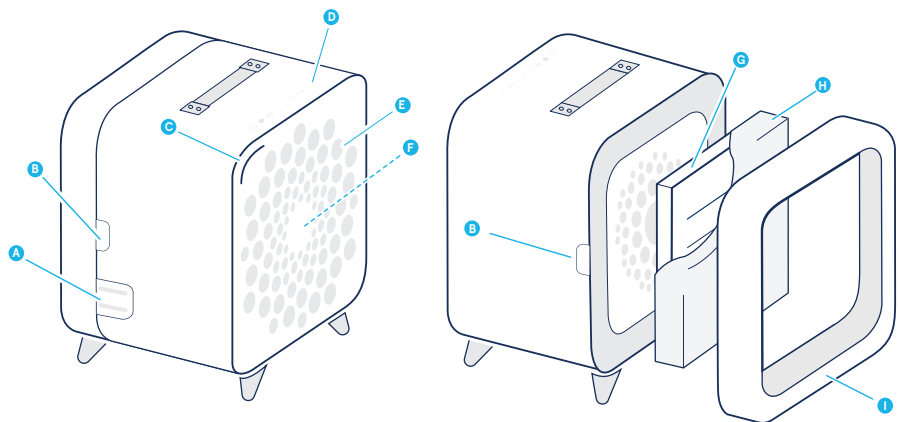
本製品にはコントロール機能と内蔵型センサーが搭載されています。本体の設定は、操作パネルでいつでも変更できます。

本製品は、主にモーター、ファン、フィルターで構成されています。本製品は室内の空気から汚染物を取り除き、室内空気環境を向上させます。

本製品を最大限発揮するためには

- 推奨フロア面積を目安とした広さの空間でご使用ください。
- 本体周辺に空気が循環できるスペースを空けてご使用ください。
- 本体の周辺10cm以内には物を置かないでください。
- 部屋の窓やドアを閉めた状態でご使用ください。
- Blueairの純正フィルターをご使用ください。
- 操作パネルのフィルター交換お知らせランプが「赤」に変わったら、メインフィルターを交換してください。
- 本書の内容に従って、定期的にお手入れをしてください。

各部名称



A 空気質センサー

B 取り外しボタン

C 空気環境ステータスランプ

D 操作パネル

E 吹出口

F ファン、モーター

G メインフィルター

H プレフィルター

I フィルターフレーム

J 電源コード(上図には記載されていません)

K 取扱説明書(上図には記載されていません)

安全上のご注意

本商品は屋内使用専用です。安全を十分に考慮して設計されておりますが、一般に電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる可能性があります。次の注意事項をお守りになり、安全にご使用ください。

図記号について



指示

この行為を必ず実行してください。



禁止

この行為は禁止されています。



警告

次の警告事項を必ずお守りください。警告を守らずに使用した場合、火災や感電などにより使用者の死亡や大けがを伴う事故につながる可能性があります。



指示

煙が出る、変な臭いがするなどの異常、および故障時には、ただちに使用を中止する

そのまま使い続けると、発火や感電の原因になります。異常を感じた場合は、すぐに差込プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスマスター」へご連絡ください。



指示

差込プラグと電源コンセントの接続部分は、ホコリなど定期的に除去する
差込プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



指示

電源コンセントから差込プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜く

コードを引っ張ると、コードの中の電線が切れ、ショートによる感電や火災の原因になります。



指示

差込プラグを電源コンセントに差し込むときは、まっすぐに突き当たるまで差し込む

差込プラグが外れかけたまま使用すると、感電や火災の原因になります。



指示

交流100Vで使用する

本商品は日本国内専用です。100V以外の交流電圧で使用すると、火災の原因になります。



指示

子どもが本商品で遊ばないように注意する

けがや故障の原因になります。事故の原因になります。



指示

子どもや身体、感覚または思考能力が低下していたり、経験や知識が不足している方は、保護責任者から指示、監督されない環境において使用しない

けがや事故の原因になります。



指示

水分がかからない場所に設置する

火災や感電の原因になる場合があります。また、ペットの尿や加湿器からの水蒸気などがかからないようご注意ください。



分解禁止

自分で本商品を分解や改造、修理しない

商品内部には電圧の高い部分があります。感電や火災の原因になりますので、分解や改造、修理をしないでください。



濡れ手禁止

濡れた手で差込プラグをさわらない

濡れた手で差込プラグを抜き差しすると、感電の原因になります。



禁止

付属の電源コードを本商品以外に使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

付属の電源コード以外を使用しない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

運転中に電源コンセントから差込プラグを抜かない

火災や感電の原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグに負荷をかけない(加工する、傷つける、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、束ねる、挟む、ペットがかじるなど)

電源コードや差込プラグに負荷がかかることによる感電や火災、ショートの原因になります。



禁止

電源コードや差込プラグを熱器具に近づけない

感電や火災の原因になります。



禁止

電源タップや延長コードを使った「たこ足配線」で、定格を超えた接続をしない

電源コードや差込プラグの負荷が大きくなり、感電や火災の原因になります。



水濡れ
禁止

本体に水をかけない

火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

吸込口・吹出口や本体のすき間に指や金属物などの異物を入れない
感電やけが、故障の原因になります。



可燃物
禁止

油や可燃性ガスなどを使用する場所、漏れるおそれのある場所に設置しない

引火や、ガス吸引による発火や発煙の原因になります。



禁止

次のような可燃性の高いものを本体に近づけない

- ・ヘアスプレーや殺虫剤など
 - ・火のついたタバコや線香など
 - ・ベンジンやシンナーなど
- 引火や感電の原因になります。



禁止

有機溶剤（ベンジン・シンナー・アルコール・ガソリンなど）を使ってお手入れをしない
故障の原因になります。



禁止

電源コードが破損した場合は、そのまま放置したり自分で修理したりしない

破損した状態のまま使用し続けると、感電や火災、ショートの原因になります。すぐに差込プラグを電源コンセントから抜き、「ブルーエアサービスセンター」へご連絡ください。



プラグを
コンセントから
抜く

長い間使用しない場合は、差込プラグを電源コンセントから抜いておく

差込プラグにホコリがたまると、湿気などによる絶縁不良が起こり、感電や火災の原因になります。



プラグを
コンセントから
抜く

フィルター交換やお手入れ、点検、本体の移動の場合は、運転を停止し電源を抜く

電源が入ったまま行くと、感電やけがの原因になる場合があります。



指示

壁などから10cm以上離して設置する

空気の流れが悪くなり、発熱や発火の原因になります。



指示

安定した水平な床面に設置する

本商品は床置き専用です。壁にかけたり、棚に置いたりはできません。万一、本製品が転倒すると、けがや家財破損の原因になります。



禁止

浴室など高温多湿、水のかかる場所に設置しない

火災や感電の原因になる場合があります。



禁止

動植物に直接風が当たる場所に設置しない

動植物に長時間風があたり、乾燥する原因になります。



禁止

カーテンや洗濯物で吸込口や吹出口を塞がない

発熱や発火の原因になります。



禁止

発煙または霧タイプの殺虫剤使用時には運転しない

本体内部に蓄積した薬剤成分が、再運転後に吹出口から放出され、健康を害する場合があります。殺虫剤の使用後は十分に換気をおこなってからご使用ください。



禁止

上に乗ったり、寄りかかったり、横倒ししたり、上に物をのせたりしない
転倒によるけがや故障の原因になります。



禁止

移動するときは、本体から外れる部分を持たない

落下によるけがや故障の原因になります。



指示

燃焼器具と一緒に使う場合は必ず換気する

本製品は換気が出来ません。そのため、燃焼器具から発生する一酸化炭素による中毒の原因になる場合があります。



指示

必ずブルーエア純正の付属品のみを使用する

火災や設置不良による事故、故障の原因になります。



禁止

フィルターを取り外した状態で稼働させない

集じん効果が得られない他、故障の原因になります。

使用上のご注意

フィルター交換お知らせランプが点灯したら、フィルターを交換する

交換をしないと、集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。フィルターは使用頻度により交換の目安が異なります。詳しくは「フィルターについて」の項目をご確認ください。

ブルーエア空気清浄機純正の付属品やフィルターを使用する

純正の付属品やフィルターを使用しないと故障の原因になります。純正品以外の付属品やフィルターを使用して生じた故障は保証の対象外です。

フィルターは水洗いしない

集じん効果が低下します。

直射日光が当たる場所で使用しない

変色の原因になります。

フィルターを外したり、保護フィルムがついた状態のまま運転しない

集じん効果が得られないばかりか、故障の原因になります。

熱器具（暖房器具など）、熱い物の近くで使用しない

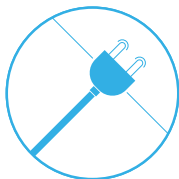
変色の原因になります。

使用中は、窓や扉を閉めて使用する

初めて使うとき

手順1

電源コードのプラグをコンセントに挿し込みます。



手順2

本体の電源ボタンを押して電源を入れ、運転スピードボタンを押して運転スピードを調整します。



操作ボタンと表示

操作パネルで本体を操作します。LEDライトは電源オンの状態を示します。

電源ボタン



電源ボタンを押すと、本体の電源オン/オフを切り替えることができます。

運転スピード

選べる風量オプション: 1~3、オートモード、ナイトモード



ボタンを押して、運転スピード、オートモード、ナイトモードを切り替えることができます。

オートモード

Auto

オートモードでは、センサーで感知した室内空気環境に基づき、自動で本体の運転スピードを調整します。

ナイトモード



ナイトモードでは、運転スピードは低速になり、LEDライトが暗くなります。本体のすべてのランプは5秒後に消えます。

オートスタート

本製品にはオートスタート機能が備わっています。電源障害や、電源コードの抜けなどが原因で運転停止した場合、復帰後は自動的に電源オフ前の風量で運転を再開します。

フィルター交換お知らせ機能

本体の表示ランプでフィルター交換時期をお知らせします。



フィルターの使用状況
フィルターの使用残がありません。

空気環境ステータスランプ

粒子 (PM) の空気環境を、以下のカラーで示します。直径 $2.5\mu\text{m}$ 以下の微粒子であるPM2.5の値を示します。

空気質レベル (PM 2.5)



汚れている



ふつう



きれい

フィルター

本製品にはプレフィルターとメインフィルターが付属しております。フィルターは粒子を取り除き、空気を清浄します。本製品の機能を最大限発揮するため、プレフィルターは定期的に掃除してください。メインフィルター交換のタイミングになると、フィルター交換お知らせランプが点灯します。交換用のフィルターについては、www.blueair.jp よりご確認ください。本製品の品番は本体に貼付されたの製品ラベルに記載されています。

重要! フィルター交換、掃除、またはメンテナンスを行う前に、必ず本体の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

重要! フィルターなしで本体を使用しないでください。

メインフィルター交換お知らせランプ

フィルターの交換

使用開始から約6カ月後にLEDが「赤」に変わりフィルター交換時期をお知らせします。
(24時間使用の場合の目安)



フィルター交換お知らせランプのリセット

お知らせランプをリセットするには、電源ボタンを7秒間長押ししてください。



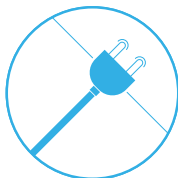
プレフィルターのお手入れと交換

本製品の性能を最大限発揮するため、プレフィルターは定期的にお手入れしてください。ブラシなどのパーツを取り付けた掃除機で、プレフィルターの外側のホコリを取り除きます。プレフィルターをさらに洗淨する必要がある場合は、プレフィルターのラベルに記載されている指示に従って、洗濯機で洗ってください。

重要! プレフィルターを取り外す前に、本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜いてください。

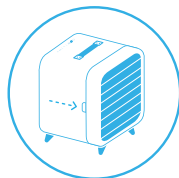
手順1

本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜きます。



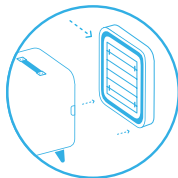
手順2

カチッと音が鳴るまで、両側の取り外しボタンをやさしく押します。



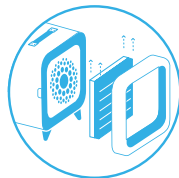
手順3

フィルターとフレームを取り外します。



手順4

メインフィルターとプレフィルターをフィルターフレームから取り外します。



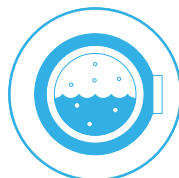
手順5

メインフィルターからプレフィルターを慎重に取り外します。



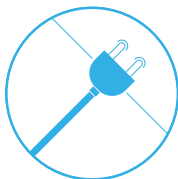
手順6

プレフィルターのラベルに記載されている指示に従って、洗濯します。



手順7

電源コードのプラグを挿し込み、本体の電源を入れます。



プレフィルターを洗濯ししっかり乾燥させたら、この手順を逆順に行います(手順4、3、2、1の順)。

メインフィルターの交換

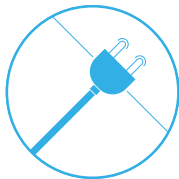
メインフィルターは約6カ月毎の交換をおすすめします。

フィルターを交換する際は、掃除機などで本体内部にたまったホコリを取り除いてください。

重要! 空気清浄性能を最大限に発揮するため、Blueair 純正のフィルターをご使用ください。
純正以外のフィルターを使用して故障した場合、保証の対象外となります。

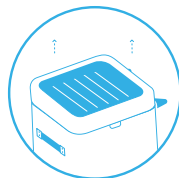
手順1

本体の電源を切り、
電源コードのプラグ
を抜きます。



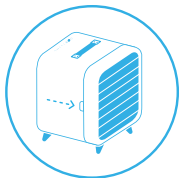
手順2

柔らかく安定した場所
に、フィルターフレームを
上向きにして本体を慎重
に置きます。



手順3

カチッと音が鳴るまで、
両側の取り外しボタンを
やさしく押します。



手順4

本体の背面を外し、
メインフィルターをフィ
ルターフレームから取り
外します。



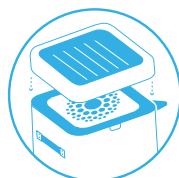
手順5

プレフィルターを古いフィ
ルターから慎重に取り外
し、新しいメインフィ
ルターに装着します。



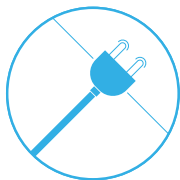
手順6

新しいメインフィルター
をフィルターフレームに
戻し、所定位置に固定
します。



手順7

電源コードのプラグを挿し込み本体の電源を入れます。



手順8

電源ボタンを7秒間長押し、フィルター交換お知らせランプをリセットします。リセット後、フィルター交換お知らせランプが点滅して「白」に変わります。



お手入れとメンテナンス

概要

- メンテナンスをする前に本体の電源コードのプラグを抜きます。
- 吸込口または吹出口から異物が入らないようにしてください。異物混入は、感電または故障の原因になります。
- 故障の原因になりますので、ガソリン、化学溶剤、腐食性物質を使ってお手入れをしないでください。
- 本体がきちんと乾いていることを確認してから電源コードのプラグを差し込んでください。
- メインフィルターは水洗いしないでください。メインフィルターは水洗いおよび再利用できません。

掃除

- プレフィルターのラベルに記載されている指示に従ってプレフィルターを洗浄するか、ブラシなどのパーツを取り付けた掃除機でプレフィルターの汚れを取り除いてください。
- 本体の外側は、水分を含ませて固く絞った清潔な布で拭いてください。
- ブラシなどのパーツを取り付けた掃除機で小さな吸込口のホコリを取り除きます。
- ブラシなどのパーツを取り付けた掃除機で本体の内側のホコリを取り除きます。
- 電源コードやプラグは、定期的にホコリを取り除き、破損していないことを確認してください。
- メインフィルターを交換する際はセンサーも掃除してください。

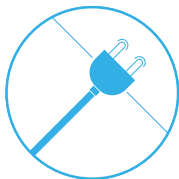
センサーをお手入れする

センサー部は本体側面にあります。

重要! 指や鋭利な金属などでセンサー内部を掃除しないでください。

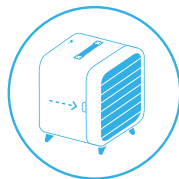
手順1

本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜きます。



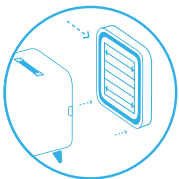
手順2

カチッと音が鳴るまで、両側の取り外しボタンをやさしく押します。



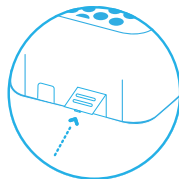
手順3

本体の背面を取り外します。



手順4

本体の内側にある取り外しタブを押して、センサーカバーを取り外します。



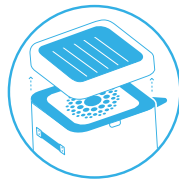
手順5

綿棒で優しく円を描くようにセンサーをふき取り、センサーカバーを取り付けます。



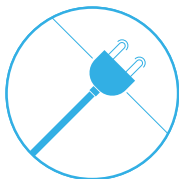
手順6

メインフィルターをフィルターフレームに戻し、所定位置に固定します。カチッという音がするまでしっかりと押し込みます。



手順7

電源コードのプラグを挿し込み本体の電源を入れます。



本体を廃棄するときは

本商品を廃棄する場合は分解せず、お住まいの自治体の指導に従ってください。

アフターサービスについて

困ったときや、消耗品をお求めの際は、www.blueair.jp をご確認くださいか、ブルーエアサービスセンターへお問い合わせください。

保証について

本書に記載された内容に従わず使用して故障した場合は、保証の対象外となりますのでご注意ください。

返品のご相談

商品の返品につきましては、お買い上げいただいた店舗へご相談ください。

主な仕様

Pure Fan Auto

入力電力、周波数	100VAC 50/60Hz
消費電力	4-44 W
運転音 ¹	25-54 dB (A)
風量 ²	>265 cfm (>450 m ³ /h)
CADR値に基づく推奨フロア面積 ³	326 ft ² (30 m ²)
CADRタバコ煙 ³	210 cfm (360 m ³ /h)
CADRホコリ ³	220 cfm (375 m ³ /h)
CADR花粉 ³	250 cfm (425 m ³ /h)

¹ GB / T18801に基づく試験結果。

² IEC 60879:2019規格に基づく数値。

³ AHAM AC-1-2019規格に基づく試験結果。